



2010年6月9日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2010年ブルーリボン賞・ローレル賞決定

■ **ブルーリボン賞 東日本旅客鉄道 E259 系**

■ **ローレル賞 近畿日本鉄道 22600 系**

鉄道友の会（会長 須田 寛、会員約 3,500 名）は、**会員の投票をもとに優秀と認めた車両**である 2010 年ブルーリボン賞の該当車両として、**東日本旅客鉄道 E259 系**を選定することに決定しました。

また、鉄道友の会ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が**性能、デザイン、製造企画、運用などの諸点に卓越したものと認めた車両**である 2010 年ローレル賞には、**近畿日本鉄道 22600 系**を選定することに決定しました。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

東日本旅客鉄道 E259 系

東日本旅客鉄道の E259 系は、既存の 253 系に代わる「成田エクスプレス」専用特急車両として登場しました。成田空港アクセス輸送は、様々な交通機関がシェア獲得に凌ぎを削っています。今回の置換は、成田空港アクセスで競合するバスやマイカーとの競争力を高めるとともに、空港利用者の増加に応えるための利便性向上を図るという側面を持ち合わせています。

外観は、253 系が築き上げた赤・白・黒に代表されるブランドステータスを継承しつつも、先頭部分の形状やロゴ配置を変えることによって新生 N'EX(成田エクスプレスの愛称)のイメージを創出しています。

快適移動空間の実現は、車両性能と車内設備の両面を向上させることによって達成しています。性能面では、乗り心地の向上を図るため、同社の新幹線で採用したフルアクティブ動揺防止制御装置を先頭車に搭載したほか、車体間ダンパ装置を装備しました。主要機器類や伝送経路は、二重系化するなどして安定輸送をより確実なものにしています。

車内は、ユニバーサルデザインを積極的に採用しています。出入口と客室の間の大型荷物置場には、ダイヤル式の鍵と防犯カメラを設置し、セキュリティを高める配慮がなされています。客室内の荷物棚は、利用しやすいように取付高さを低めに設定しています。また、座席下部には 250mm の空間を確保しており、足を伸ばすだけでなく荷物を置くことを想定して、暖房吹出口を従来の座席下から窓側下部に移設している点も見逃せません。客室通路天井部には、17 インチワイド液晶画面の車内情報表示器を 2 画面並列で複数箇所に設置し、行先案内・運行情報・ニュース・フライト情報などを最大 4 カ国語で提供することで情報案内の充実を図っています。ビジネス利用を想定したパソコン使用の環境面では、グリーン車・普通車を問わず全席にコンセントを備え、無線 LAN を介したインターネット接続サービスを導入しています。

以上のように、東日本旅客鉄道 E259 系は、日本を代表する国際空港と首都圏主要駅をダイレクトに結ぶ列車にふさわしい設備と性能を兼ね備えた車両であり、鉄道友の会の多くの会員の支持を集めたことから、ブルーリボン賞に選定しました。



ブルーリボン賞 東日本旅客鉄道 E259 系

2010 年ローレル賞 選定車両の解説・選定理由

近畿日本鉄道 22600 系

近畿日本鉄道 22600 系は、標準軌路線の汎用特急車両としては、22000 系以来 17 年ぶりとなる新形式車です。昭和 40 年代から主力となっている 12200 系に代わる車両と位置づけられ、2 両または 4 両編成で、他車との併結も可能で、特定の運転系統に固定せず、幅広く運用されています。

塗色は、伝統色であるオレンジとブルーのツートンカラーを継承しています。先頭部分は、22000 系で採用した 3 次曲面のデザインを発展させ、先頭部の高さを 180mm 上げてさらに丸みを持たせた形状として、滑らかさとスピード感を強調しています。中央には自動開閉式プラグ扉で構成された貫通路を備え、連結した際には、車内の通り抜けが可能です。

車内設備は、快適性の向上に主眼を置いています。座席は、「アーバンライナー」の「ゆりかご式シート」を改良したもので、シートピッチ(座席の前後間隔)は 1,050mm です。室内からの眺望を考慮した側窓の天地寸法は 965mm となり、21020 系「アーバンライナー・ネクスト」と同じ寸法です。座席周りでは、用途に応じて使い分けが可能のように背面と肘掛部双方にテーブルを設け、近年の需要に応える携帯・モバイル用コンセントや足元空間の拡大に配慮した脚台を設置するなど、きめ細やかな心配りが見られます。また、編成内 1 カ所(ク 22900 形)に開放感のある独立した喫煙室を設け、周辺への煙や臭いの対策を施し、同時に客室部分をすべて禁煙とすることで、完全な分煙を実現しました。これらによって、長距離輸送を目的とした「アーバンライナー」や「伊勢志摩ライナー」と遜色ないサービスを提供しています。22600 系は、同社の広範な特急ネットワークの標準軌路線全運転系統で運用に就いています。質の高いサービスが、特定の路線や区間に偏らず、日常的に提供されることは、利用客にとっては福音といえます。

以上のように、「**全ての特急利用客に、快適な移動空間を等しく提供するという特急サービスの新たなスタンダードを確立した**」という特徴が、選考委員会において高く評価されたことから、ローレル賞に選定しました。



ローレル賞 近畿日本鉄道 22600 系

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

鉄道友の会が毎年1回、前年中に営業運転に就いた新車の中から選定している賞です。両賞の趣旨や選考方法は以下の通りです。



ブルーリボン賞（1958年制定）

会員による投票をもとに、会員が優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞（1961年制定）

性能、デザイン、製造企画、運用などの諸点に卓越したものと、ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員（10名）で構成しています。

前年中に営業運転に就いた車両の中から新車と見なせる車種をノミネートし、それらを対象に両賞の選考を行います。

なお、今年のノミネート車両は9車種でした。

添付資料一覧（併せてご覧ください）

- ・ 過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧
- ・ ノミネート車両9車種の詳細（『RAILFAN』誌 2010年5月号）
- ・ 鉄道友の会のご紹介

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16

第五DMJビル3階

鉄道友の会（本部事務局）

担当 大庭、宮崎

TEL & FAX 03-5215-0305

URL <http://www.jrc.gr.jp/>